

鳴山周防守

しぎやま すおうのかみ



上杉軍の旗「毘」「龍」

上杉軍の軍旗「毘」は、お館様が信仰していた毘沙門天びしゃもんてんの一字をとったものじゃ。毘沙門天は、北方の守護神であり、お館様は自らを毘沙門天の化身と信じ、越後で天皇、将軍のおられる京都を守護しようとしたのじゃな。それゆえ、「毘」の軍旗が戦場にたつと皆、勇猛果敢ゆうもうかかんに戦ったのじゃ。「龍」の旗は、懸り乱れ龍かがりらんれりゅうといわれ、この旗を持つ部隊が先頭になって敵陣に突撃したのじゃ。その様子は、龍神のごとく敵を一気に飲み込むかのようじゃった。

お酒が大好き

お館様は大酒豪家だいしゅごうかだったのじゃ。日夜愛用していた酒杯しゅはいは、直径10センチ、深さ6.5センチの大きな「春日杯」というものじゃ。馬に乗っている時も、「馬上杯」という柄のついた酒杯で酒を呑んでおったのじゃ。酒の肴さかなは何じゃと思う？ いつも梅干じゃ。梅干は二日酔い、疲労回復に効果があり、戦場食品としても貴重だったのじゃが、酒の肴がいつも梅干しでは、高血圧になりますぞ、お館様。



滝寺毘沙門天立像
(上越市指定文化財) 滝寺町内会
上越市滝寺の滝寺毘沙門堂の本尊



桃井讚岐守

もものい さぬきのかみ